

各位

会社名 株式会社 ケイブ
 代表者名 代表取締役社長 CEO 秋田 英好
 (コード番号: 3760、JASDAQ)
 問合せ先 代表取締役副社長 CFO 安藤 裕史
 (TEL. 03-6820-8176)

(訂正)「第三者割当増資に係る資金使途変更に関するお知らせ」の
 一部訂正について

2021年5月28日に発表いたしました適時開示資料「第三者割当増資に係る資金使途変更に関するお知らせ」につきまして、一部誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

(訂正前)

1. 変更の理由

当社は、2019年3月14日開示の「第三者割当による新株式及び新株予約権の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び2020年3月30日付「第三者割当増資に係る資金使途変更に関するお知らせ」に記載のとおり、第三者割当による新株式発行による調達資金である1,017百万円を「新規スマートフォンネイティブゲームのアプリ及びその他デバイスにおけるゲーム開発」及び「新規スマートフォンゲーム制作委員会への出資」に2021年9月までに充当する予定でしたが、未充分である資金につきまして、第三者割当増資による調達資金の資金使途の一部を変更し、当社事業に係る運転資金へと充当することといたしました。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。(変更箇所は__で示しております。)

【変更前】

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
新規スマートフォンネイティブゲームのアプリ及びその他デバイスにおけるゲーム開発	711	2020年6月～2021年9月
新規スマートフォンゲーム制作委員会への出資	306	2020年3月～2020年4月

(注) 1. 上記の使途及び金額は、現時点での当社の新規タイトルの開発計画等を前提として、現時点で入手し得る情報に基づき合理的に試算したものであります。このため、今後、当社が上記計画を変更した場合あるいは事業環境の変化があった場合など、状況の変化に応じて使途又は金額が変更される可能性があります。また、上記の支出予定時期は、上記計画のいずれもが順調に進捗した場合を前提としております。2. 調達資金を実際に支出するまでは、銀行預金で運用する予定であります。3. 開発に係る人件費として500百万円、外注費として211百万円を見込んでおります。外注費の内訳としては開発委託に194百万円、デバック費用に10百万円、声優等に7百万円を見込んでおります。

【変更後】

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
ライブ配信プラットフォーム開発費用等	300	2020年__月～2021年9月
新規スマートフォンゲーム制作委員会への出資	306	2020年3月～2020年4月
当社事業に係る運転資金	411	2021年6月～2021年12月

(訂正後)

1. 変更の理由

当社は、2019年3月14日開示の「第三者割当による新株式及び新株予約権の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び2020年3月30日付「第三者割当増資に係る資金用途変更に関するお知らせ」に記載のとおり、第三者割当による新株式発行による調達資金である1,017百万円を「新規スマートフォンネイティブゲームのアプリ及びその他デバイスにおけるゲーム開発」及び「新規スマートフォンゲーム製作委員会への出資」に2021年9月までに充当する予定でしたが、未充当分である資金につきまして、2020年8月31日において当該資金を使用しておりません。

一方で当社は、2020年8月31日開示の「海外子会社の設立に関するお知らせ」に記載のとおり、ライブ配信アプリのさらなるクオリティの向上を目指すこととしリリース時期を改めることといたしました。

そのため第三者割当増資による調達資金の資金用途を変更し、ライブ配信プラットフォームの開発費用等及び当社事業に係る運転資金に充当し、同時にこれまで未使用である資金の支出時期を変更するものです。

2. 変更の内容

資金用途の変更内容は以下のとおりであります。(変更箇所は__で示しております。)

【変更前】

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
新規スマートフォンネイティブゲームのアプリ及びその他デバイスにおけるゲーム開発	711	2020年6月～2021年9月
新規スマートフォンゲーム製作委員会への出資	306	2020年3月～2020年4月

(注) 1. 上記の用途及び金額は、現時点での当社の新規タイトルの開発計画等を前提として、現時点で入手し得る情報に基づき合理的に試算したものであります。このため、今後、当社が上記計画を変更した場合あるいは事業環境の変化があった場合など、状況の変化に応じて用途又は金額が変更される可能性があります。また、上記の支出予定時期は、上記計画のいずれもが順調に進捗した場合を前提としております。2. 調達資金を実際に支出するまでは、銀行預金で運用する予定であります。3. 開発に係る人件費として500百万円、外注費として211百万円を見込んでおります。外注費の内訳としては開発委託に194百万円、デバック費用に10百万円、声優等に7百万円を見込んでおります。

【変更後】

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
ライブ配信プラットフォーム開発費用等	300	2020年8月～2021年9月
新規スマートフォンゲーム製作委員会への出資	306	2020年3月～2020年4月
当社事業に係る運転資金	411	2021年6月～2021年12月